

大猷院殿と拜したてまつる

家譜(○)子孫松平
澗四郎景季保

去年死(世嗣なく
して家絶とす)

松平

新五左衛門源直次かどつ加賀右衛門康次う四

男う河小左衛門家譜友之助と

いひたり家譜伏見とす

東照宮と拜し命とうけく江戸にま

い

公徳院殿小はううま川る大坂西度乃

没し家譜寛永譜
元和二年九月直次及

ひ松平清二郎昌長戸塚北古橋の忠之鶴
殿新二郎長直等六十一人

大猷院殿小附属せざるを給ふこの時六十一
人と四隊よりわら給ひに直次一隊乃

筆頭役と命せざる 東武實録 後法書院番の組

頭と形り 寛永譜○按るるに家傳
小元和元年中あり 此とくく

ゆるさましく布衣と着ひ 家傳 後法徒れ頭と

るり 寛永譜
家傳 寛永九年六月法持るれば

轉家傳 此力同心の上と預る 寛永譜 同十年

十二月加増ありて米地千四百石と知は

し 御日記 慶安二年十月十六日とく六十四

して死ひ法名無暗と稱ひ其子友之助

某といふ寛永十年父より先まき早世

け 家傳 二男孫次を法直 かよ 聖元十一年

大猷院殿と稱したてまつり同十五年め

出さましく法書院番の列ふり同十八

年法小世祖乃番士と称り寛永譜父

没してゆくやとてく慶安二年十二月七日に

死せり家傳二男七郎を信直信直と是より

先實永十六年

按此より小家譜より五年とあり今御日記よりて六年とあり

大猷院殿と稱し同十九年六月より出さ

ましく信書院番とつとめり寛永譜正保

元年七月十八日父兄より先よりとて死

たる四男去平去平重信重信先小成瀬去平

正去り養子とてりて母の家を継たり

は正去り五男新五郎信直直廣信直小父の遺跡

と賜るるやぬ

家傳より今の信書院番松平源五郎乗通より